

6-17 地殻活動総合観測線による観測結果（暫定値）
（1991年7月1日～1992年1月31日）

Results from Monitoring Chains of Crustal Activities in Kinki District
(Tentative Values) (July, 1991 – January, 1992)

京都大学防災研究所
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

北陸近畿および近畿山陰両観測線のうちから、第1図に示す逢坂山、由良および紀州の3観測点における主な観測成分について、1991年7月1日から1992年1月31日までの7ヶ月間の観測結果を示す。第4図に見られるように、紀州には3台の水管傾斜計を設置しているが、第5図の紀州の水管傾斜計についてのベクトル表示は、 $N89^{\circ}E$ と $N129^{\circ}E$ 方向の2成分の結果から合成したものである。

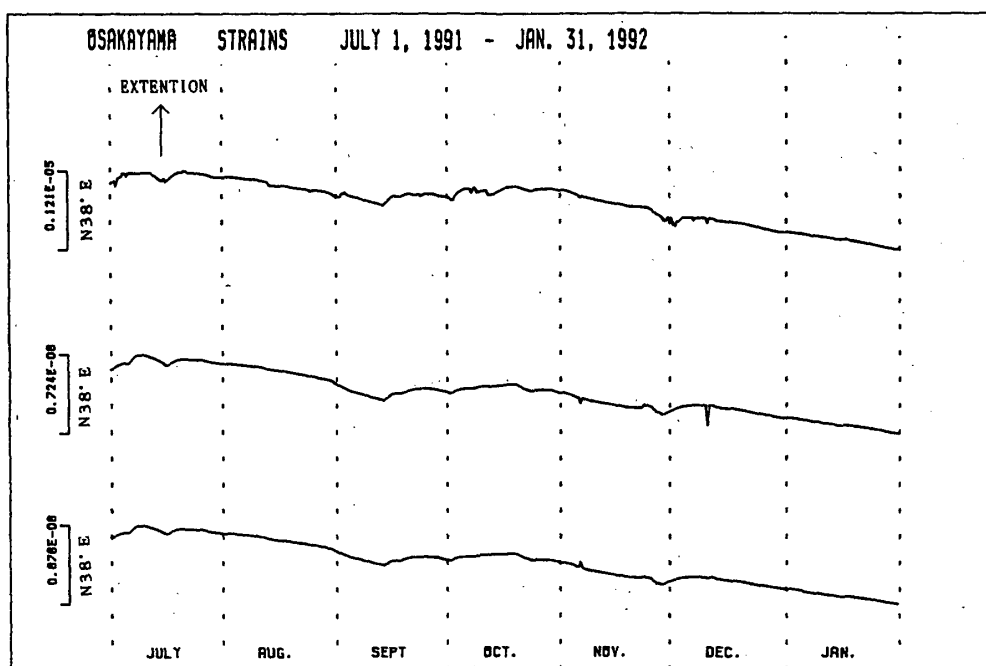
由良における観測は、1991年6月末に激しい雷によってセンサーおよびアンプの故障を生じ、以後修復に手間取り、長期間の欠測を生じた。第3図および第4図の直線部分が欠測期間である。なお、第5図中の由良の傾斜ベクトル図では、上記欠測時に生じている出力電圧の変化も、わずかではあるが、そのまま示しているので、注意されたい。

逢坂山、由良および紀州の3観測点におけるひずみおよび傾斜の観測結果はいずれも、降雨にともなって通常現われる変化、観測のための入坑時の影響、故障修理後の余効的変動など人為的な変化、および通常の季節的な変動を除き、特筆すべき異常は認められない。



第1図 位置図

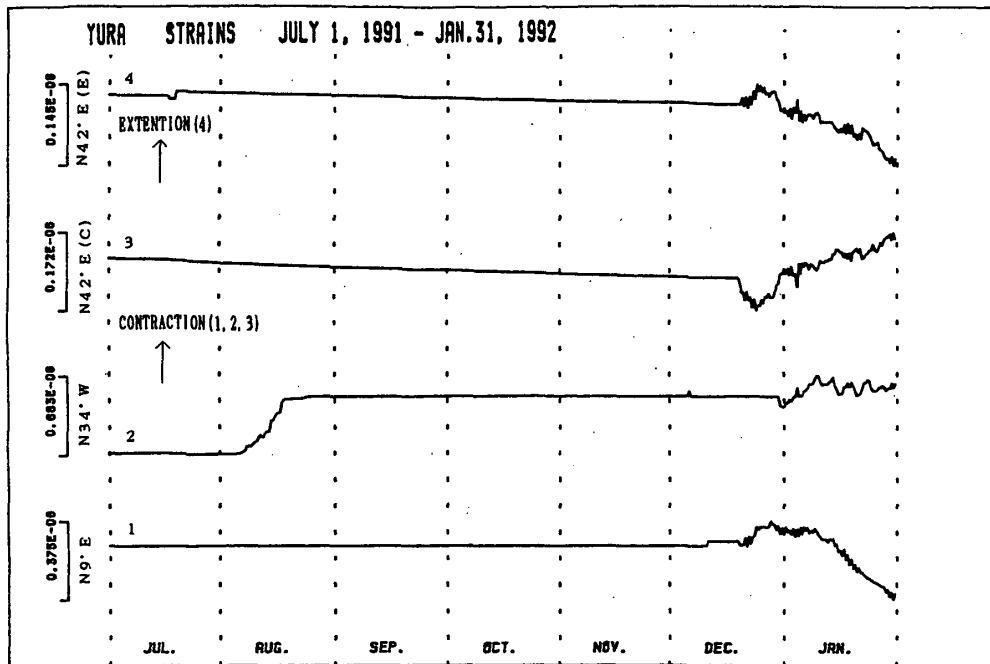
Fig. 1 Observation stations.



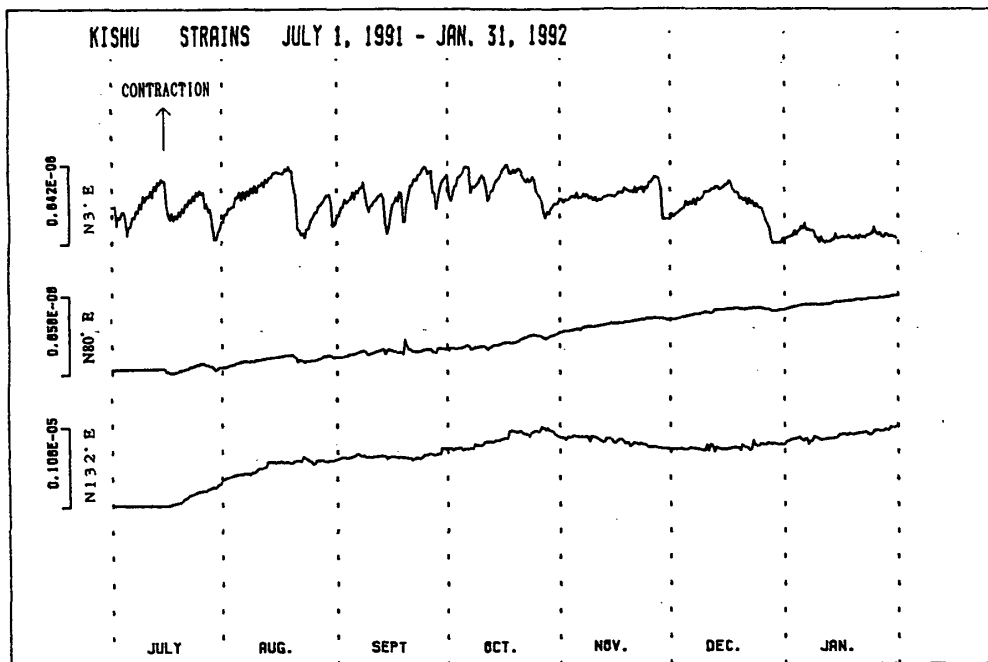
第2図 逢坂山におけるひずみ変化

Fig. 2 Strain changes at Osakayama.

由良におけるひずみ変化



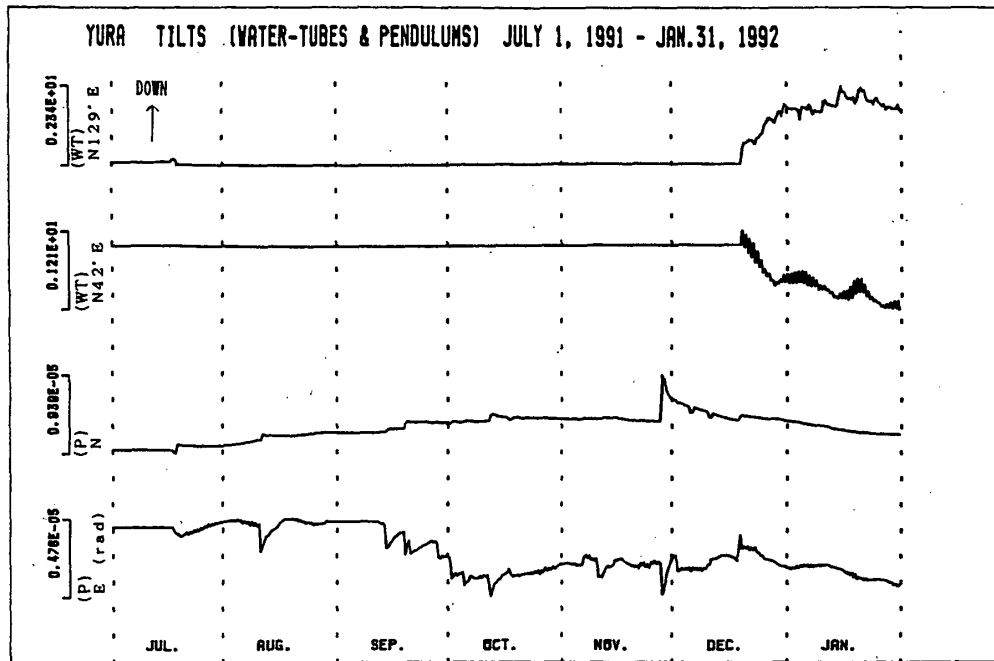
紀州におけるひずみ変化



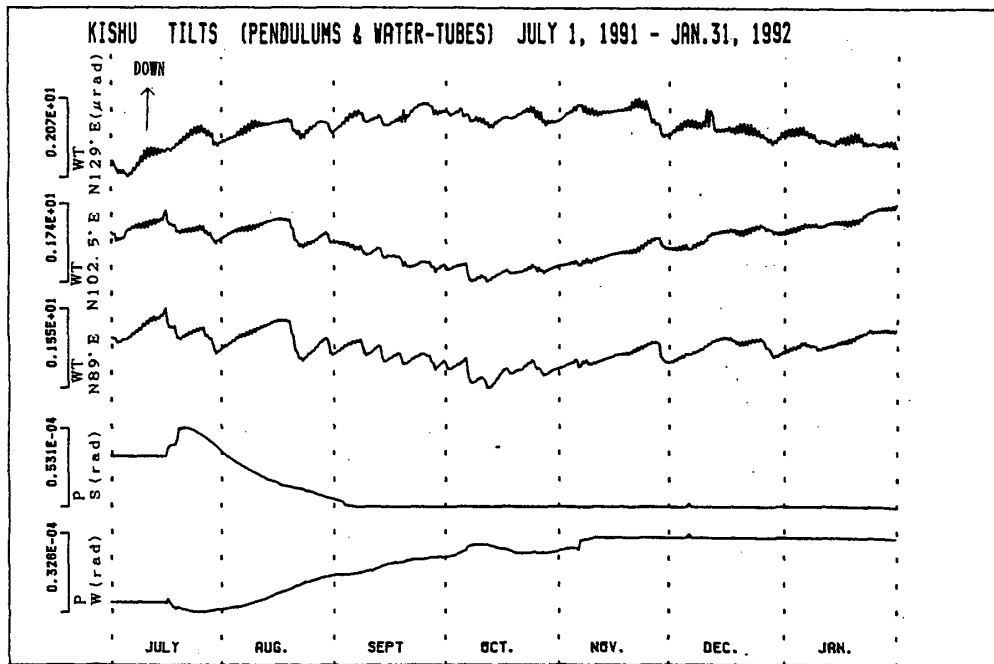
第3図 由良および紀州におけるひずみ変化

Fig. 3 Strain changes at Yura and Kishu.

由良における傾斜変化



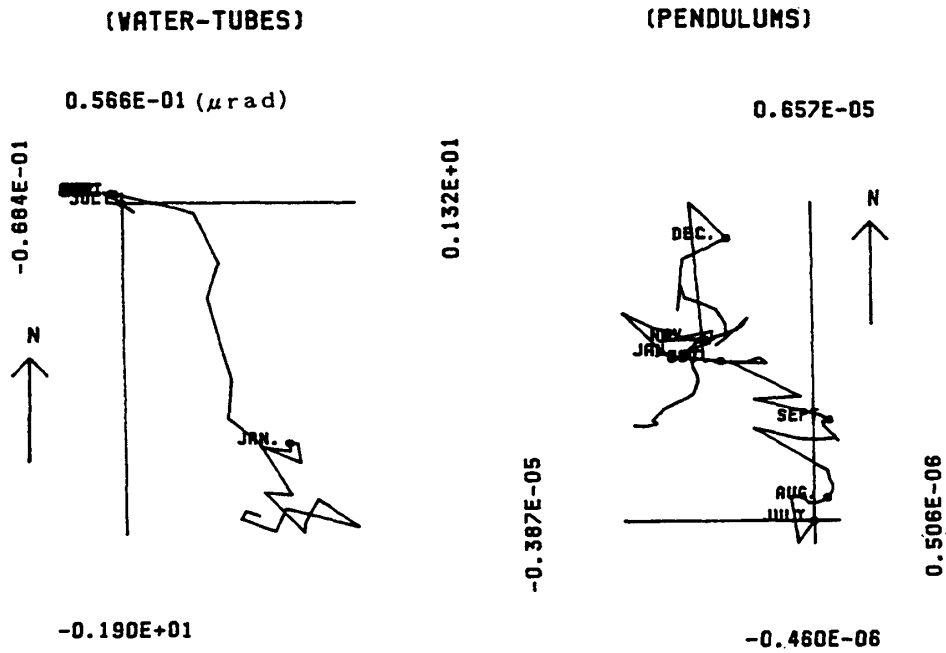
紀州における傾斜変化



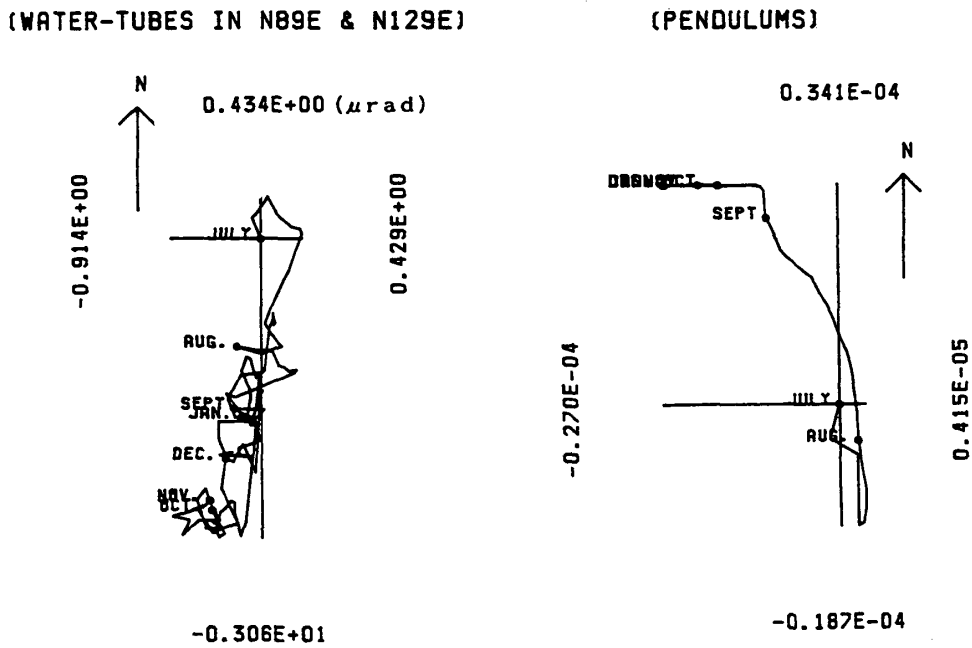
第4図 由良および紀州における傾斜変化

Fig. 4 Tilt changes at Yura and Kishu.

YURA TILTS JULY 1, 1991 - JAN. 31, 1991



KISHU TILT JULY 1, 1991 - JAN. 31, 1992



第5図 由良および紀州における傾斜ベクトル図
 Fig. 5 Vectorial presentation of tilt changes at Yura and Kishu.